

調査等事項報告（団体名：改革クラブ）

視察先	総合福祉支援センター「わっしょい」「いきいき元気館」 山形県立楯岡特別支援校、山形県立村山産業高校
視察日時	平成29年11月30日（木）13時半～17時まで
視察項目	障がい者支援及び有害鳥獣被害対策について
視察者	改革クラブ（菊池大二郎、菊池貞好、結城正、犬飼司）
内 容	<p>1 総合福祉センター「わっしょい」 就労移行支援、就労継続支援B型、生活介護、相談支援、放課後等デイサービス「たいよう」等、障がい者に合わせた支援を行っている。企業の受注（タオル印刷、PC解体など）の軽作業、また個人の能力の向上のための訓練や支援を、そして一般就労等を希望される方には就職活動支援及び就職後の職場定着支援を行っている。</p> <p>2 いきいき元気館「いずみ」「おひさま」 心身の発達に心配のあるお子さんに対して、遊びの中から適切な援助と運動面や精神面の発達を促し、生活する力が身につくよう支援している。</p> <p>3 山形県立楯岡特別支援学校 学校には「現場実習の機会」を求めて、生徒が南は天童から北は尾花沢まで広範囲にわたり通学している。就労支援コーディネーターを一人配し、小学部、中学部、高等部に分けて障がい児の支援をしている。現在100人程度の在校生が通っているが、毎年20人程度増加傾向にあり、今後の施設拡張も考えなければならない。</p> <p>4 山形県立村山産業高校 「超音波による有害鳥獣駆逐システム」装置を研究、実習している村山産業高校の電子情報化の3人の生徒たちに話を伺ってきた。この駆逐装置は太陽光発電システムで電源をとり、被害地区に設置して超音波を出し、有害鳥獣を追い払おうとする装置である。現在はまだ超音波の届く距離も40mであり、効果のある鳥獣もハクビシンにしか確認が取れていないが、まだまだこれから改良の余地が十分にあるという事である。何よりも頼もしいのは、この生徒たちのスローガンは「でんしでげんきなまちづくり」である。</p>